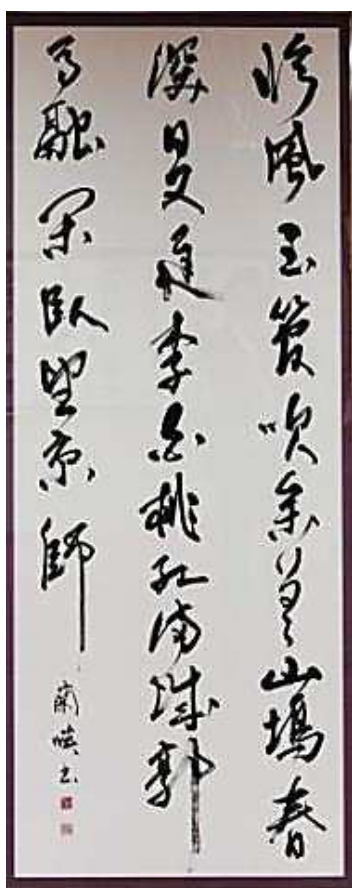


第23回 川西市展入選目録



特別賞 青木賞

書の部

「山閣聞笛（さんかくにふえをきく）」
山田 蘭映（川西市）

特別賞 平通賞

日本画の部

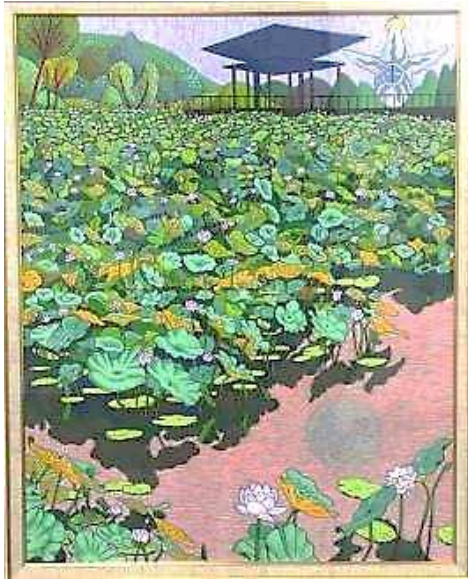
「ダリア咲く」
米田 三枝（姫路市）

- 部 門 洋画 日本画 書 彫刻・立体造形 工芸 写真 現代美術
- 入選作品 平成27年2月10日（火）～2月14日（土）
展示期間 午前10時～午後5時（最終日は午後3時まで）
- 会 場 川西市文化会館・中央公民館 1階、4階

主催 川西市

■ 洋画の部

一席 万博公園の蓮池 村杉 健



二席 朽ちゆく納屋 西川 喜雄

三席 放置された搾乳缶 中塚 昭子

奨励賞 ^{しゅうえん}終焉 稲垣 恭子

奨励賞 木陰 引地 新一

奨励賞 ひねもす春の^ひ陽 戸田 勝

奨励賞 参道 平尾 實

奨励賞 ブルージュの運河 梅本 順子

奨励賞 KLMTな婦人像 荒川 弘道

奨励賞 車庫の風景 恵村 順次

奨励賞 浮遊する直前の儀礼 児玉 泰

入選 南の島 村上 正行

入選 望郷の山 宮本 光雄

入選 夕焼け・こやけ 堂見 和子

入選 雪の日の文殊堂 山本 良彦

入選 ひととき 立川 いつ子

入選 11月30日のコンポジション 葛城 英樹

入選 自画像 前尾 進

入選 ^{でん ほうし おしょう}伝・宝誌和尚 南 清七郎

入選 広場の一隅 川端 節子

入選 雨上りの中華街 竹尾 勝

入選 北の酒蔵 鈴木 基光

入選 面接の前 鈴木 美代子

入選 インドにて 坂本 順子

入選 竹林 坂井 登美子

入選 椿 本土 彰

入選 帰ろう 福本 貴美子

入選 夕照 芝 司信

入選 インドネシアのパティック 萬代 伸子

入選 休息する画伯 野村 和男

入選 お使い 天野 正勝

入選 繋ぐ 酒井 成之

入選 向こう側 伊与田 真実

入選 里の秋 藤森 忠雄

入選 登り窯 花井 紗代子

入選 母さんのしゃぼん玉 広瀬 敬三

入選 帰り道 野口 睦枝

入選 帰り道 高井 勝

入選 ^{いろり}囲炉裏のある風景 狩山 博臣

入選 クメールの記憶(バイヨン遺跡) 稲継 佳久

入選 赤い屋根の街角 倉本 晋匡

入選 店先の空瓶 岡島 信博

入選 初秋の山里 笠井 頼子

入選 ^{れいめい}黎明(夜明け) 野田 節子

入選 潮騒 佐藤 吉憲

入選 朝ぼらけ(ルクソールにて) 小室 浩士

入選 昼下がり 松本 和子

入選 新名神2014年4月 森本 功

入選 カサブランカ 蔵本 道子

入選 名残り 鍵井 伸旺

入選 未知へ 井本 雅夫

入選 山王神社二の鳥居 橋本"NAKBA"
扶美江

(次頁に続く)

■洋画の部（つづき）

入選	春を待つ 昆陽池	大智 寛
入選	蔵	友近 一郎
入選	ちどう 地動	正木 みつ子
入選	思い出の路	太田 連
入選	Love Dream	森岡 たつ美
入選	長崎ランタン祭	大城 純子
入選	工場通路 ミラー	浦 政一
入選	同化	岩永 浩明
入選	ミニトマト	山下 武二
入選	水仙	中尾 昇二
入選	伏見の酒蔵	那須 久悦
入選	土の器	松本 博
入選	運河が一番華やぐ日	百々 真二郎

講評 藤本 元美・尾島 守

今年度、出品総数は、やや減少したものの、誠実に自己表現を追求している作品が多く、見ごたえのある展示になっています。

ただ、題材が風景画に片寄っているので、人物画や抽象作品の出品を期待しています。

一席「万博公園の蓮池」は、不透明な色を使って色面構成の様に描かれていますが、その中でひとつひとつのハスの葉の形にリズムが有り、しっかりと奥行きが表現されています。手前のハスの花と葉のフォルムが美しく、ピンクの水面に浮かびあがっています。

二席「朽ちゆく納屋」は、手前の土壁に当たる秋の暖かい光が画面にどっしりとした量感を与えています。奥の山もしっかりとした奥行きが感じられ、柿の実のオレンジ色が画面に動きを与えています。

三席「放置された搾乳缶」は、つぶれたリヤカーに放置された缶の存在感を水彩で見事に表現しています。植物のツルの絡まりが人工物の缶と対比されていて素晴らしい。

■日本画の部

一席	ダリア咲く	米田 三枝
	<平通賞>	作品の写真は表紙に掲載
二席	春の息吹	西垣 和代
三席	家路	横山 勇生
奨励賞	月下美人	清水 信吉
奨励賞	水面に浮ぶシャンティ城 (フランス、パリ郊外)	湯川 延子
奨励賞	しゃも 軍鶏	岡本 航
入選	孫文記念館	肥塚 隆正
入選	金柑	柴垣 傳子
入選	昭和の名残り(多田大橋)	久保田 忠雄
入選	カサブランカ	馬場 美代子
入選	雪解け	山崎 一義
入選	六甲八幡神社	田中 政三
入選	りゅうず 竜頭の滝	木村 仁志
入選	夕日と古木・生命力	阿久根 記美子
入選	春来る水べ	藤井 安雄
入選	廃屋の秋	松本 敏子
入選	通りゃんせ～♪	砂子 久美子
入選	アイリス	堂本 一子

講評 稲田 峻・山田 毅

膠彩(こうさい)画、水墨画とも全体的に出品点数は減ったものの、作品の質は向上し、審査は難航した。次年度は更に期待できるものと感じた。

一席の「ダリア咲く」は、葉の緑が美しく、ダリアの赤さが変化に富んでいて際立って美しい。画面での花の切れ方も良く、広がりを感じ、明るさを更に助長している。

二席の「春の息吹」は、しっとりした色づかいが苔むした木の根の印象を美しく伝えている。

三席の「家路」は、画面の明暗からくる印象を力強く感じるが、テーマ性をどのように伝えるかを工夫すれば更に良い作品になると感じた。

■ 書 の 部

一席	さんかくにふえをきく 山閣聞笛	山田 蘭暎
	<青木賞> 作品の写真は表紙に掲載	
二席	春の心	長田 恵美子
三席	いろは歌	川口 登美子
奨励賞	百人一首 14首	山根 知香子
入選	りぐんぎょくし 李群玉詩	伊藤 倅泉
入選	おうぎ 王沂の詩	高木 暎琴
入選	きんえいにだい 近影二題	福岡 淳
入選	ごせん わかしゅう けいが 後撰和歌集 慶賀	高田 多恵子

講評 土井 芳泉・坪之内 柏舟

今年度は残念ながら出品点数が減少しました。しかし、すばらしい作品ばかりで審査には苦慮いたしました。

一席の漢字作品は、行間が通っており、墨色もきれいに出的。全体の空間処理もうまく纏めて、じっくりとおちついて仕上げています。

二席の三十六歌仙のかな作品は、一枚一枚がそれぞれシャープな線で、濃淡・構成も十二枚それぞれよく纏まっており、見る人の心をいやす作品となっている。

三席の調和体の作品は、一字一字の造形がうまく、全体としてよく纏め、空間の取り方もよく筆の抑揚がうまく出ている作品となっている。

最後に、一～三席以外の作品も力作で上位賞に劣らない作品ばかりでした。来年度はもっと多数の作品が出品されるよう期待しています。

■ 彫刻・立体造形の部

一席	(該当なし)	
二席	(該当なし)	
三席	「生きる」ファミリー	立川 聡
奨励賞	阿弥陀如来	岡本 航

講評 川島 慶樹・山田 実

作品審査に来て、彫刻・立体造形の部門はとてま少なく驚きました。

浄土宗の本尊「阿弥陀如来」は、丁寧に彫られた作品ですが、作り始めなのか、少しバランスと彫りのあまさが感じられます。次回の力作に期待しています。

三席「生きるファミリー」は、自然の見立てを主題にしつつ、こまかく手が加えられ、毎回、不思議な世界観を表現されています。

年々市展に出品される彫刻作品にスケール感が乏しくなっているように見受けられ、さらに大きな作品へ挑戦されることを期待しております。

この部門は、仏像彫刻や陶彫、オリジナルフィギュア、具象表現や抽象表現と、様々な素材や考えを持って、自由に自己表現できる部門です。ふるって出品してください。

■ 工芸の部

一席 草木染・手紡ぎマット

松本 節子



二席 陶板額「菌類模様2014.11」

辰己 正美

三席 かがり松細工

西村 昇平

奨励賞 練り込み^{しのぎもん}鍋文花器「波紋」

井上 雅善

奨励賞 想い

長谷川 由紀

入選 ^{かがみえ}鏡画 窓辺にバラ

澤山 和廣

入選 ^{みやび}雅

上井 学

入選 かがやき

石原 康次郎

入選 樹の器

神庭 賢

入選 Wrinkled Vase

山口 勝郎

入選 old-fashioned .カメラ

福西 治作

入選 幻を舞う

吉田 由美子

入選 額

荒木 三郎

講評 安芸 和美・工藤 良健・渡辺 雅夫

川西市展も23回目になりましたが、今年は工芸部門への出品数が減ったことを残念に感じています。次年度以降、出品数が増えることを期待しています。今年は多様な素材を使い表現された作品に出品者の想いを見て取ることができ、楽しく審査させていただきました。

一席「草木染 手紡ぎマット」は、羊の原毛を手で紡ぎ糸にして織った作品です。植物染料のしっとりとした色合いと幾何学模様が絶妙にマッチし、自然の恵みを楽しめたやさしい織り作品となっています。

二席の陶板額「菌類模様2014.11」は現代アートをイメージする大変魅力ある作品ですが、今後の課題として作品の大きさ、額等を考えていただければ、もっと良い作品になると思います。

三席の「かがり松細工」は、素材の特徴を巧みに活用した秀作です。光に照らされた時の存在感はかなり強いものがありますが、更にデザイン的な工夫をされた新しい作品の発表を期待しています。

■ 写真の部

一席 ^{けんらん}絢爛

木村 和重



二席 川西市の桜・江戸彼岸・山桜・霞桜 渡邊 雅之

三席 祭りの日

森崎 秀生

奨励賞 瞬光

平井 猛

奨励賞 遊び心

井上 隆雄

奨励賞 芸術作品

木下 勇

奨励賞 眼光鋭く

弥田 行雄

奨励賞 ^{そうぎょう}早暁

芦田 芳郎

(次頁に続く)

■写真の部（つづき）

奨励賞	荒涼	有瀬	清美
奨励賞	夢のなか	近藤	孝典
奨励賞	千年家の春	田島	孝雄
奨励賞	怒りのポーズ	梅原	昇
奨励賞	ふっこうまぐろ 復興鮪	板坂	知子
奨励賞	け あらし 磯の気嵐	西村	謙之助
奨励賞	遊び仲間	千布	正人
奨励賞	ちょっと、失礼！	中村	敏明
奨励賞	何だって青春一直線	仁井田	精司
奨励賞	あけぼのに舞う	今崎	常良
入選	羽ばたく	梅崎	光政
入選	ゆきは 雪晴れの朝	村上	正行
入選	早春の明石	教野	道雄
入選	峠越え	松田	信子
入選	静寂	戸田	太一
入選	柿の里	亀田	政彰
入選	どう 如何も気になる	浅野	三雄
入選	まきばの昼下がり	松本	進
入選	雪国の朝	森岡	繁信
入選	清らかな朝	木村	公子
入選	飛躍	馬場	和正
入選	グッドタイミング	加藤	昭代
入選	私の住む街	渡辺	聡
入選	収穫を待つ	前田	悦二
入選	こと わ 古都の侘び	川西	良樹
入選	朝霧	橋本	信雄
入選	新年がスタート	安田	善八郎
入選	海峡を行く	村井	浩
入選	峡谷を行く	日下部	一一
入選	ビューティフル！！	田中	美智香
入選	紫煙の衣	成平	博
入選	きんば きんば 金波銀波	石村	武徳

入選	祈りの火の輪	牧	孝三
入選	静寂	永野	晃造
入選	雫	松田	順男
入選	星の想い	武内	俊雄
入選	干潮のシンホニー	井上	厚志
入選	さばかいどう 鯖街道	中野	英男
入選	水面に遊ぶ	砂田	まゆみ
入選	いの 禱り	数藤	守治
入選	むしあけ 虫明の朝	大槻	さかゑ
入選	巡行	田中	節子
入選	しゅうよういっこく 秋陽一刻大地を染める	風穴	武志
入選	飛翔	山辺	幸男
入選	みこ ゆだちしんじ 巫女の湯立神事	間島	章介
入選	雨の上高地	湯本	廣
入選	光彩の海	鴛海	一吉
入選	おまつりの日	吉原	和孝
入選	盛夏	遠藤	堅衛
入選	～鎮魂の祈りを込めて～沈黙の 畔(ほとり) 御嶽山二の池	山本	成雄
入選	屋気楼 都市 Mirage city	中村	年雄
入選	ぐんゆう 群遊	中島	昭子
入選	夕照	木下	晶子
入選	しゅうれい 秋麗	岡田	秀雄
入選	猛ハッスル！	栗飯原	誠一
入選	ぼしよく そうぜん 暮色・爽然	竹内	壽一
入選	とき 刻・それぞれ	三谷	浩
入選	晩秋	中原	博史
入選	きら 煌めく渚	上月	正美
入選	仲良し	桑名	弥栄
入選	どかんざか 土管坂	稻生	孝雄
入選	クライマックス	新	武男
入選	彼岸の頃	松田	光史
入選	乗鞍夕照	直木	嘉也
入選	ひがた ちょうけい 干潟朝景	西村	俊裕

(次頁に続く)

■写真の部（つづき）

入選	慕情	西川 敏弘
入選	森の巨人	西山 紀子
入選	メジロ	明河 喜三郎
入選	視線	合田 將史
入選	異空間	村山 明
入選	残雪の砂丘	村山 恵美子
入選	水かけ祭り“ワッショイ”	野村 英勝
入選	精宿る	舩屋 正年
入選	日課	池永 勉
入選	門出	大西 亜希子
入選	彼岸	井原 利夫

講評 辻林 宏一・川口 和子

今年の応募作品は、風景、動物、鳥、海外、街角、祭りと多種多様にわたっていて、バラエティに富んでいます。しかし、少しレベルがここ数年の作品よりも低くなっており、上位を決めるのに苦心しました。

一席は、幹がはみ出るくらいの構図で力強さ、アングルの良さ、色彩の良さが評価されました。技量のうまさも上位に決まりました。

二席は、桜の彩りの組み合わせと、しっとりした質感、よい空気感が出ている作品です。

三席は、祭りの子供の表情、笑顔を良く捉え、構図的にもよくまとまった作品です。

■現代美術の部

一席	命のいとなみ	三木 富美子
----	--------	--------



二席	CRY	高萩 典子
三席	今 遠くかなたへ飛びたとう Just! fly to for away!	木村 友紀子
奨励賞	宇宙の彼方からのメロディー	岩崎 浩子
奨励賞	マル・マル	田中 二三子
入選	つなぐ	高野 暢子
入選	GLOBAL FAMILY	角 真生子
入選	センスの広がり	岡田谷 美和
入選	とくとく	加藤 美奈
入選	パピルス	畠山 忠美
入選	リゅう流	雅 あかまろう
入選	続く汚染水作業(20年後の、大震災後も夜が明けるNo.53)	Ms&Mrシュウ
入選	さかな	白石 卓也
入選	しんおん心音	西田 実喜
入選	再培養	桑垣 和弘
入選	1015 どのう怒濤	園田 喜美子
入選	みつ三ツの缶の静物	寺田 明

講評 持田 総章・半田 まゆみ

現代美術という自由な表現の部門で多様な作品が展覧された。

一席「命のいとなみ」は、和紙とひもを使って、平面でありながら空間をうまく表現できている。

二席「CRY」は、ビニールの立体であるが、もっとダイナミックに創りあげればスケールの大きな作品になったと思う。

三席「Just! fly to for away!」は、英語のタイトルは疑問であるが、絵画に使用しないような素材にチャレンジして、川西市展出品作としては新しい傾向である。

奨励賞には、和紙を焦がした色と線で和紙の持つ風合いを生かした「マル・マル」と軽やかな波打つラインで広がりを感じる「宇宙の彼方からのメロディ」の2点を選んだ。

全体として、もっとエッジの利いた精神に突き刺さるような作品を期待したいし、フレームや展示の仕方にも工夫を凝らしてほしい。

各部門審査員

(順不同、敬称略)

<洋画>

藤本 元美・尾島 守

<工芸>

安芸 和美・工藤 良健・渡辺 雅夫

<日本画>

稲田 峻・山田 毅

<写真>

辻林 宏一・川口 和子

<書>

土井 芳泉・坪之内 柏舟

<現代美術>

持田 総章・半田 まゆみ

<彫刻・立体造形>

川島 慶樹・山田 実

特別賞審査員

二元会会長 山本 幸雄

川 西 市 長 大塩 民生

川西市文化協会会長 山崎 清

川西市議会議長 小山 敏明

川西市市民生活部長 大森 直之

青木賞、平通賞について

特別賞の青木賞、平通賞は、昭和を舞台に活躍された川西ゆかりの芸術家に因んで名づけられました。

青木賞は、青木大乘（あおき だいじょう）画伯の名前をいただきました。青木画伯は、明治24年大阪に生まれ、新燈社洋画研究所、卯木に大日美術院を開き、洋画から日本画へと世界を広げました。戦後、川西に移り住んで創作活動を続け、昭和54年に亡くなりました。

平通賞は、平通武男（ひらどおり たけお）画伯に因んでいます。平通画伯は明治40年大阪に生まれ、新燈社にて青木大乘画伯に師事。東光会審査員から日展審査員へと洋画の世界で活躍を続け、戦後は川西に住まれ、日展参与となられた後、平成3年に亡くなりました。

両画伯のご遺族により、川西市に青木大乘画161点、平通武男画146点の絵画が寄付され、川西市郷土館内に両画伯の記念館「ミューゼ レスポアール」が平成7年に開館し、両画伯の絵画を鑑賞できます。

第23回川西市展応募状況等

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
洋 画	83	65	11
日 本 画	19	18	6
書	8	8	4
彫刻・立体造形	2	2	2
工 芸	13	13	5
写 真	141	84	18
現代美術	17	17	5
合 計	283	207	51